

# 鷹番住区 2016 年消防避難訓練報告

実施日 2016 年 6 月 20 日（月） 15 時～16 時  
場所 鷹番住区センター

目黒消防署碑文谷出張所から 3 名の方に来館頂き、避難誘導訓練と消火器の取扱いを実施いたしました。

参加者は、鷹番住区センター従事者 11 名、いこいの家職員、館内清掃従事者、東西三宝会の皆様 15 名、中央地区サービス事務所坂爪係長、奥主任、高林施設運営部会長の合計 31 名です。

訓練前に、従事者と消防署の方々は、1 階・2 階・地下 1 階の避難誘導路非常口と消火器設置場所の再確認をしました。

## 〈避難訓練〉

15 時実施の事前放送をして、15 時 05 分避難訓練スタート

今回は 1 階湯沸かし室ガス台から出火。気づいた清掃員が住区事務所に連絡。

従事者は、出火確認後、館内放送で避難誘導と消防署と中央地区への通報。

従事者といこいの家職員は、各部屋、トイレ内への声掛けをして、利用者全員を駐輪場まで避難誘導。各利用団体、老人クラブの責任者から全員避難をした事を報告して頂き、訓練は無事完了しました。



[館内放送で火災を通知、避難誘導]



[トイレ内の無人を確認]

## 〈消火器の訓練〉

今年は、今現在水不足の為、取水制限がでているので、放水の代わりにエアースプレーでの訓練になりました。

また消防署の方から、以下の説明を聞いた後、従事者といこいの利用者4名が、消火器操作の実施をしました。

- ① 消火器の種類・粉末型と強化液型の2種類がある。

飛ぶ距離は粉末が3～6m 液体が6～8m。

噴射時間は約15秒。

- ② 取扱い訓練・黄色い安全ピンは消火場所に移動する前に抜いてはいけない。

消火器の中身は、完全に使いきる。

初期消火の目安は穂炎の高さが1.5m～2m位。

炎にかけるのではなく火の根元を狙ってかける。

天井にまで届いていたら、消火器での消火はできない。



[消火器の種類と性能の違いを伺う]



[消火器を使って訓練]

終了後、消防署からの、総評とアドバイスをいただきました

皆さんあわてずに避難できました。

火災の時はあわてずに避難し、煙を吸わないよう注意。

日頃から、避難経路の確認と、避難経路の鍵はどうなっているのか調べておく。

119番に通報した時は、消防署の問いかけに答えるかたちにする。

とくに、住所はおちついて、必ず目黒区を入れて住所を言う。

消火活動をする時は、避難退路を確保してから、行う事

以上

無事に消防避難訓練を終了致しました